

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公 開 特 許 公 報(A)

(11) 特許出願公開番号
特開2005-199676
(P2005-199676A)

(43) 公開日 平成17年7月28日(2005.7.28)

(51) Int.Cl.⁷
B 3 2 B 3/24
E 0 4 C 2/26

F I
B 3 2 B 3/24
E 0 4 C 2/26

A
U

テーマコード (参考)
2 E 1 6 2
4 F 1 0 0

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号	特願2004-39019 (P2004-39019)	(71) 出願人	504059290
(22) 出願日	平成16年1月14日 (2004.1.14)		齋藤 慎兵衛
			北海道札幌市北区新川西4条3丁目7番7号
		(72) 発明者	齋藤 慎兵衛
			北海道札幌市北区新川西4条3丁目7番7号
		Fターム(参考)	2E162 CA31 CA33 CB16 EA11 4F100 AB02A AG00B AG00C BA02 BA03 BA04 BA05 BA06 BA10A BA10C BA13 CB00B DC16A DG01B DG06C GB07 GB81 JB07 JD05 JJ07 JL03

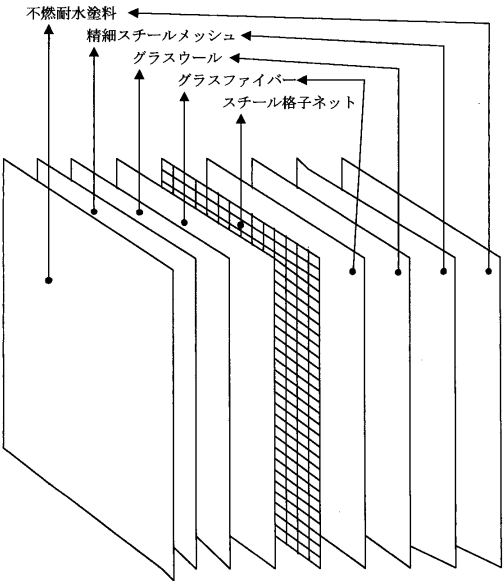
(54) 【発明の名称】 スチールネットパネル

(57) 【要約】

【課題】 木材板、或いは鉄鋼板、或いはガラス板の弱点を克服しようとする。

【解決手段】 スチールネットにより軽量化を図り、グラスファイバー、グラスウールにより不燃化を図り、接着剤により硬化を図り、耐水不燃塗料により不燃防水を図るものである。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スチールネットの接着多層構造板であること。

【請求項 2】

接着媒体にグラスファイバーを使っていること。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は軽量耐水硬質外壁ボードに関するものである。

【背景技術】

【0002】

スチールネットの 3 層構造張り合わせによるボードである。

【0003】

接着剤として間にグラスファイバーとグラスウールを両面に一層ずつ敷き詰めニスで圧着している。

【0004】

盤面には表、裏とも不燃、耐水塗料を塗布してある。

【0005】

釘うち、ネジうち可能。

【0006】

割れないし変形も可能。

【0007】

淵取りに不燃樹脂をぬってある。

【0008】

1 畳の大きさを基本とし、大型、小型も作れる。厚さは 3 mm ~ 10 mm。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0009】

従来のボードは割れたり、へこんだり、折れたり、劣化したり、重かったり、釘打ち出来なかったり、耐水でなかったりする物ばかりであった。

【課題を解決するための手段】

【0010】

本発明は上記

【0009】

の問題点を克服しようとするものである。

【発明の効果】

【0011】

本発明は手で持てる軽さを実現し、硬い、割れない、耐水、不燃、釘打ち可能、変形可能と屋外の風雨から快適な室内空間を現出しようとするものである。更に地球森林資源が伐採により減少枯渇する中、地球環境を憂い、それよりは地球にふんだんにある鉱物資源を使って人類環境を豊かにしたいという考えから発想が出ています。これは火星の地でも使えます。

【発明を実施するための最良の形態】

【0012】

特許により委託製造が考えられます。

【実施例】

【0013】

外壁ボード、隔壁ボード、屋根板、テーブル板、ドア板、棚板、荷台板、その他。

【産業上の利用可能性】

【0014】

10

20

30

40

50

造船内部隔壁、寝台列車内隔壁、他、用途によりサイズを変えられる。

【図面の簡単な説明】

【0015】

中心部格子状針金網一層、その両側にガラスファイバー一層、更にその両側にガラスウール一層、表裏上よりニス进行スプレーする。更にその両側に精細スチールネットを貼り上から压着する。表面を滑し、耐水不燃塗料を表裏両面に塗布する。乾燥して出来上がり。淵整え、不燃樹脂を淵に塗る。

【図 1】

